

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部
 本社：千葉県茂原市渋谷1016-12
 メール：agree@green.ocn.jp
 agree-sys@excite.co.jp

おもしろ体験博物館 江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418
 開館時間：10：00～17：00
 休館日：月曜日
 問い合わせ：0465-81-5339

印象派の最高傑作が初来日！
 オルセー美術館・オランジュリー美術館所蔵

ルノワール展

国立新美術館 企画展示室1E

世界でも有数のルノワール・コレクションを誇るオルセー美術館とオランジュリー美術館。本展は、両美術館が所蔵する約100点を超える絵画や彫刻、デッサン、パステルを展示し、全貌に迫る注目の展覧会。



本展監修者シルヴィ・パトリさん



本展の目玉となるのは、印象派時代の最高傑作《ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏会》が日本初公開され、迫力あるサイズで展示され、自然に足が止まってしまうほどだ。

そのほかに《田舎のダンス》と《都会のダンス》が45年ぶりに揃って来日し、見どころいっぱいとなっている。これらはオルセー美術館・オランジュリー美術館の所蔵するもので、約100点を超える絵画や彫



刻、デッサンなど数々の作品からルノワールの全貌に迫っている。

写実的な初期作品から、薔薇色の裸婦を描いた晩年の大作まで、全10章を通して紹介している。

1章 印象派へ向かって
 2章 「私は人物画家だ」
 … 肖像画の制作
 3章 「風景画家の特技（メチエ）」
 4章 「現代生活」を描



音声ガイドナビゲーター大空祐飛さん
 《ムーラン・ド・ラ・ギャレット舞踏会》前

◆ 4月27日(水)～8月22日(月)
 国立新美術館 企画展示室1E (東京都港区六本木7-22-2) TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
 一般1600円 大学生1200円 高校生800円 中学生以下無料 毎週火曜日休館(ただし、5/3および8/16は開館)

5章 「絵の労働者」…ルノワールのデッサン
 6章 子どもたち
 7章 「花の絵のように美しい」
 8章 《ピアノを弾く少女たち》の周辺
 9章 身近な人たちの絵と肖像画
 10章 裸婦、「芸術に不可欠な形式のひとつ」



次号は
5月12日発行

版画でみる20世紀展 ピカソからウォーホルまで 開催中！

■ 諸橋近代美術館 (福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23) 一般・大学生950円、高校生500円、小・中学生200円生*毎週土曜日、小・中学生は無料
 電話0241(37)1088

熱海湾を一望でき眺望ナンバーワンの美術館

■ MOA美術館 (静岡県熱海市桃山町26-2) 電話0557(84)2511
 一般1600円、高校生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円木曜日休(祝日は開館)
 JR熱海駅下車/バス4番のりばMOA美術館行8分

横浜美術館

複製技術と美術家たち

ピカソからウオーホルまで

本展は、写真印刷や映像—などの「複製技術」が高度富士ゼロックス版画コレクション



に発達・普及し、誰もが複製を通して美術を楽しむことが出来る時代に、ピカソをはじめ20世紀の欧米を中心とする美術家たちが、どのような芸術のビジョンをもって作品をつくっていったのかを、富士ゼロックス版画コレクションと横浜美術館の所蔵品によって検証するもの。

富士ゼロックスと横浜美術館のコレクションの共演となり、双方に共通する代表的作品を中心に、版画、写真、書籍などメディアによる作品を合わせた約400点を5つの章立てで紹介し、複製テクノロジーが浸



フランスの風景

樹をめぐる物語

本展はロマン派やバルビゾン派にはじまり、印象派

割を果たしてきたのかを展覧する。フランスを中心と

を経てフォーヴまで、「樹木」が風景画の展開にどのような役

する国内外の美術館、個人所蔵作品から樹木に対する画家たちの思いが込められた約110点で変遷。

メモ ◆ 4月16日 (土) ~ 6月26日 (日)

東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館 (新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパンに本稿あ本社ビル42階) 入03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1200円 大学・高校生800円 65歳以上1000円 中学生以下無料 月曜日休館

透する現代の先駆けとなった時代の美術家たちの挑戦を浮き彫りにしている。

メモ ◆ 4月23日 (土) ~ 6月5日 (日)

生誕130年記念

藤田嗣治展

東と西を結ぶ絵画

81年の生涯のほぼ半分を異国で過ごした画家、藤田嗣治。その芸術は、東西の文化の対立と融合の上に見事に花開いたものだった。

一方でその人生は、二つの世界の間で常に引き裂かれ、ついには祖国との決別という哀しい選択を余儀なくされた。

本展では、藤田の人生と芸術の根幹にある、東西の対立と融合に焦点を当て、その全貌を改めて検証している。

横浜美術館 (横浜市西区みなとみらい3-4-1) 入045-221-0300 一般1300円 大学・高校生700円 中学生400円 65歳以上1200円 木曜日、5月6日休館 (ただし5月5日開館)

近年遺族より

フランス市に

寄贈された多数の未公開作品をはじめ、

国内外の美術館や個人所蔵家から出品される代表作、約150点によって、その芸術と生涯に新たな光を当てている。

名古屋展後は7月16日 (9月22日) 兵庫県立美術館、10月1日 (12月11日) 府中市美術館で開催される。

メモ 4月29日 (金) ~ 7月3日 (日)

名古屋美術館 (名古屋市中区栄二丁目17番25号) TEL052-212-1000 一般1400円 高大生900円 中学生以下無料 月曜日休館 (5月2日は除く)

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市城内町117) 電話03(5777)8600

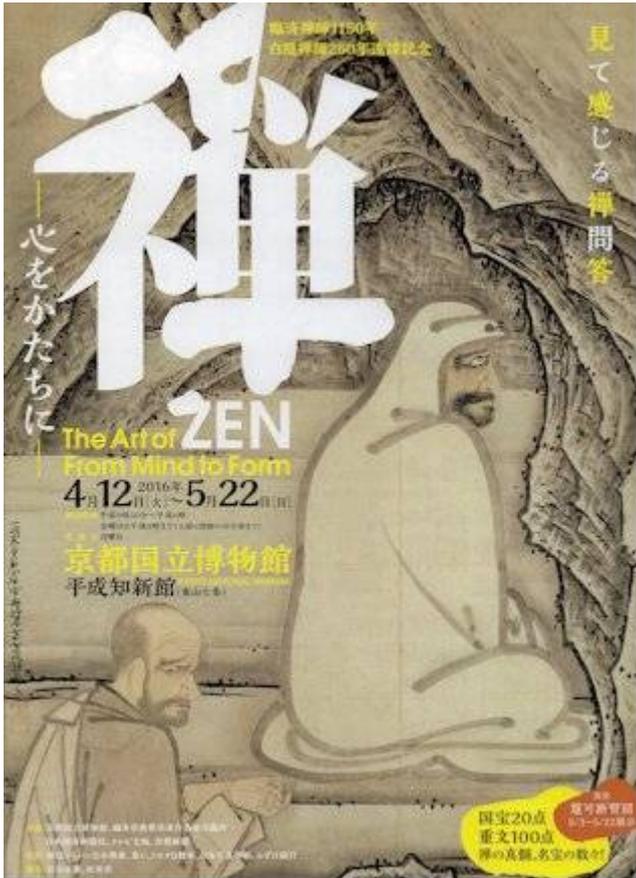
ハローダイヤル 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下は無料 月曜日休館

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本等多岐にわたる

静岡市立芹沢鈺介美術館 (静岡市駿河区登呂5の10の5) 電話054(282)522 一般410円 高大生250円、月曜日休館

庭園ゾーン、書院ゾーン、体験ゾーン、展示ゾーン

北九州市立小倉城庭園 (北九州市小倉北区城内1の2) 電話093(582)2747 会期中無休



禪

心をかたちに

臨濟禪師1150年
白隠禪師250年遠韓記念

見て感じる禅問答

禅の真髓に触れる貴重な機会

本展は、臨濟義玄の没後1150年、さらに日本における臨濟宗中興の祖である白隠慧鶴（はくいんえかく）（1686～1768）の没後250年の遠韓を記念して開催。臨濟・黄檗両宗15派の全面的な協力のもと、禅僧の肖像画や仏像、書画、工芸などを一堂に集

◆ 4月12日(火)～5月22日(日)
京都国立博物館 平成知新館(京都市東山区茶屋町527)
TEL 075-52

め、国宝19件、重要文化財103件を含む226件の名宝の数々で展覧。禅の真髓に触れる貴重な機会となる。

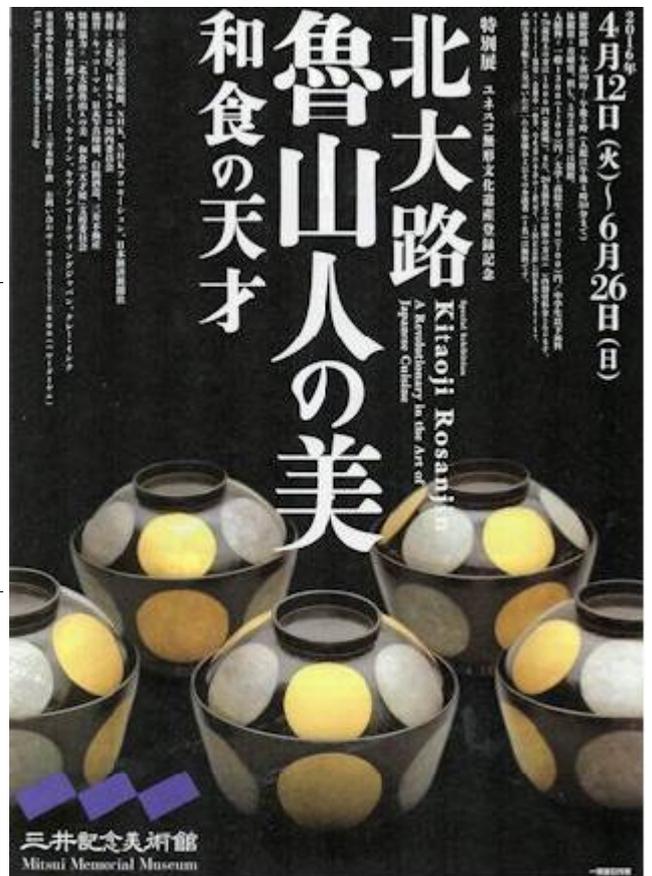
見どころは

- 1、禅宗の成立
- 2、臨濟禅の導入と展開
- 3、戦国武将と近世の高僧
- 4、禅の仏たち
- 5、禅文化の広がり

5-2473 (テレビホンサービス) 一般1500円 大学生1200円 高校生900円 中学生以下無料 月曜日休館

特別展 ユネスコ無形文化遺産登録記念

北大路魯山人の美 和食の天才



**独創的な世界を
広く紹介**

北大路魯山人(1883～1959)は若くして書家を志し、また篆刻家としても活躍していたが、一般に広く知られているのは陶芸家として魯山人だった。古陶芸を熟知し、また美食家を自任した魯山人の作陶の中心は和食器を手がけたことにあった。

ことに昭和2年、北鎌倉に開窯した星岡窯では、30数年におよんで魯山人の創意が色濃く示された器が量産され、度々開催された作陶展などで世に紹介されてきた。本展は陶磁器とともに書や絵画、漆器など、魯山人が手掛けた独創的な世界を広く紹介した貴重な展覧会となっている。

◆ 4月12日(火)～6月26日(日)

三井記念美術館(東京都中央区日本橋室町2-1-1三井本館7階) TEL 03

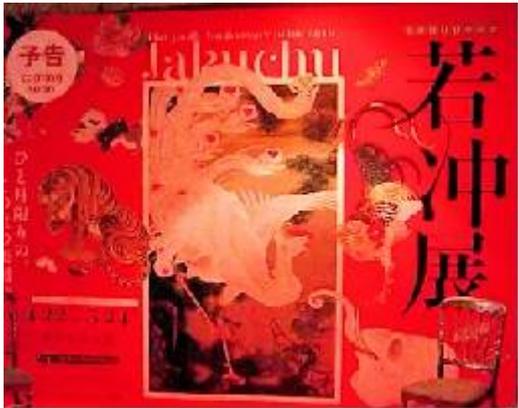
5777-8600 (ハローダイヤル)

一般1300円 大学生・高校生800円 中学生以下無料 月曜日休館(ただし、5/2は開館)

特集

ひと月限りの、この世の楽園 生誕300年記念 「若冲展」

東京初、「釈迦三尊像」、「動植綵絵」全幅を一堂に！



京都で活躍した伊藤若冲の「若冲展」が、初期から晩年までの代表作約80点が上野に集結し大人気となっている。それもひと月限りとなつては、絶対に見逃せない展覧会。

若冲の画業に迫る

現在開催中の「若冲展」は連日多くの美術関係者が押し寄せる貴重な展覧会となっている。伊藤若冲(1716~1800)は、18世紀の京都で大活躍した著名な画家として知られている。

緻細な描写技法によって動植物を美しく鮮やかに描く一方で、即興的な筆遣いとユーモラスな表現による水墨画を数多く手がけてきた。85歳で没するまで精力的に制作を続けた。本展では、若冲の生誕300年を記念して、初期から晩年までの代表作約80点が展示されている。

幅と「動植綵絵」30幅が、東京・上野で一堂に会するのは初めてとなる。近年多くの人に愛され、日本美術の中でもきら星のごとく輝きを増す若冲の生涯と画業に迫るものとなっている。

伊藤若冲とは：

その若冲は京都の青物問屋の長男として生ま



れ、生活は極めて裕福だった。23歳の時に家業を継ぐが、40歳の時に次弟に家督を譲り画業に専念する。仏の教えを尊び、その一方で描くことを愉しんで、晩年まで作品を描き続けた。身近に存在する画題をじっくりと観察し、精緻なユーモラスな生命力あふれた表現はいつの時代も多くの人を惹きつけやまなかつたと言われている。



メモ

◆ 4月22日(金) ~ 5月24日(火)

東京都美術館 企画展示室(東京都台東区上野公園)

8~36) TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

一般1600円

大学生・専門学校生1300円

高校生800円

65歳以上1000円

中学生以下無料

4/25、5/9日休館

2016年5月30日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●東京国立博物館平成館
「生誕150 150年 黒田清輝 日本近代絵画の巨匠」 5月15日まで ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 月曜日休館

●東京国立近代美術館
「安田靉彦展」 5月15日まで ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1400円 月曜日休館

●東京国立近代美術館工芸館
「芹沢銈介のいろは—金子量重コレクション」 5月8日まで ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般550円 月曜日休館

●東京芸術大学大学美術館
「芸大コレクション展 春の名品展」 5月8日まで ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般430円 月曜日休館

●東京都現代美術館

「スタジオ設立30周年記念ピクサー展」 5月29日まで ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1500円 月曜日休館

●三菱一号館美術館
「PARIS オートクチュール世界に—つだけの服」 ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1700円 月曜日休館

●山種美術館
「奥村土牛 画業ひとすじ100年のあゆみ」 5月22日まで ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1200円 月曜日休館

●出光美術館
「美の祝典I やまと絵の四季」 ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●泉屋博古館分館
「パロン住友春翠 邸宅美術館の夢」 5月8日まで ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般800円 月曜日休館

●原美術館
「ハロドリキ ユメツ10 佐藤雅晴 東京尾行」 5月8日まで ㊧03-3445-0651 一般1100円 月曜日休館

●五島美術館
「春の優品展 恋歌び筆のあと」 5月8日まで ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●日本科学未来館
「GAME ON ゲームってなんでおもしろい?」 5月30日まで ㊧03-3570-9151 一般1500円 火曜日休館

●武蔵野市立吉祥寺美術館
「萩尾望都SF原画展」 5月29日まで ㊧042-2-22-0385 一般1000円 無休

●町田市立博物館
「中国陶磁うつくし」 5月8日まで ㊧042-726-1531 一般300円 月曜日休館

東京郊外

●府中市美術館
「フアンタステイック 江戸絵画の夢と空想」 5月8日まで ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般700円 月曜日休館

●県立神奈川近代文学館
「100年目に出会う 夏目漱石」 5月22日まで ㊧045-622-6666 一般700円 月曜日休館

●静岡市美術館
「没後20年 ルーシー・リー展」 5月29日まで ㊧054-273-1515 一般1000円 月曜日休館

●千葉市美術館
「生誕140年 吉田博展」 5月22日まで ㊧043-221-2311 一般1200円 4/25休館

●国立歴史民俗博物館
「万年筆の生活誌 筆記の近代」 5月8日まで ㊧03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般830円 月曜日休館

●埼玉県立近代美術館
「ジャック・アンリ・ラル ティーク」 5月22日まで

関東南部

●群馬県立歴史と民俗の博物館
「蔵出し資料 館有コレクションの優品」 5月8日まで ㊧048-645-8171 一般400円 月曜日休館

●笠間日動美術館
「鴨居玲 死を見つめる男」 5月29日まで ㊧0296-72-2160 一般1000円 月曜日休館

●群馬県立自然史博物館
「よろいをまとった生きものたち」 5月15日まで ㊧0274-60-1200 一般610円 月曜日休館

●遠山記念館
「大観の桜・春草のつじ 春を楽しむ」 5月8日まで ㊧049-297-0007 一般700円 月曜日休館

●アーツ前橋
「田中青坪 永遠のうたを添えて」 5月17日まで ㊧027-230-1144 一般500円 水曜日休館

●山梨県立博物館
「武田二十四時」 5月23日まで ㊧055-261-2631 一般1000円 火曜日休館

●お出かけ前には再度ご確認下さい

ルネ・ラリックの生涯と出会う

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上) 1300円、中学生・小学生800円年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

●江戸民具街道 (神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを染しめず

●箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

Art Topics

緊急企画 流出文化財返還記念 アフガニスタン

と平山郁夫

平山郁夫シルクロード美術館

平山郁夫の
遺志を継ぐ

今年の1月から6月にかけて、九州国立博物館と東京国立博物館(表慶館)で、巡回開催

される 特別展「黄金のアフガニスタン—守りぬかれたシルクロードの秘宝—」では、アフガニスタン国立博物館に秘蔵されていた、美しい古代の黄金製品が紹介され、大きな話題となっている。

同展では、平山郁夫が提唱し、日本で「文化財難民」として保護された「アフガニスタン流出文化財」(全102件のうち15件)も特別出品され、これを機に「流出文化財」がアフガニスタン政府に返還されることが決まってい



アフガニスタン(平山郁夫)

に描いた《パーミヤン大石仏を偲ぶ》(2001年)、荒廃した同地を再訪したときの記録映像などにも、アフガニスタンの復興支援と文化財保護活動を展開し、画家の足跡をたどる。

メモ

◆3月12日(土)〜6月21日(火)

これまで平山郁夫の遺志を継ぎ、「流出文化財」を一部保管してきた平山郁夫シルクロード美術館(山梨県北杜市)でも、これにあわせ、アフガニスタンにおける平山郁夫の軌跡をたどる緊急企画「画を開催することとなった」。

公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館(山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6) TEL0551-3210225 一般1200円 高大生800円 中学生以下無料 無休

稲野圭介写真展

ミウラ・アーツ

ようである心に浸透する作品である。展示作品数15点。

Visva-Bharati University インド哲学を専攻した稲野はさまざまにインドの廃墟

をいわば「無」の心境で写し取る。「人間という生き物」のその安寧について思う折りのヒントを与えてくれる

メモ

◆5月11日(水)〜5月22日(土)

ミウラ・アーツ(東京都中央区銀座8-12-6) TEL&fax03-3541-1327 営業時間12:00〜19:00 日曜日休廊



編集後記

◆近頃は、海外の美術館・博物館からのメールが届くようになり、編集部は「感謝」の気持ちでいっぱいです。とくに本紙はネットでも無料検索できるシステムに加え、世界中の誰しもが自由にアクセスして頂けることに「日本語は難しく分からないですが、紙面全体を見るだけで自由に発想できるので、ネット上に出たときは楽しみます」とか「逆英語版も制作して欲しいです」とか励ましのメールが担当する者としてうれしい限りです。

◆国内でも、全国の美術館・博物館・ギャラリーからのメール案内が日増しに増加して、「本紙のガイド版」的役目が理解されはじめたのかと思うと編集者冥利に尽きます。当然一般読者があってこそですが、いかに美術に対する関心が高いか計り知れないほどです。これからも「気取らず、いつものようにガイド版に徹した紙面構成を続けたい」と思っておりますので、ご愛読頂けるよう邁進していきましょう。

Y・O